



2020年7月15日

各位

会社名 株式会社パシフィックネット
 代表者名 代表取締役社長 上田 満弘
 (コード番号 3021 東証第二部)
 問合せ先 取締役副社長 大江 正巳
 (電話番号 03-5730-1442)

中期経営計画「SHIFT 2021」の進捗評価等に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、2018年7月13日付で公表しました中期経営計画「SHIFT 2021」(2018年6月～2021年5月)の進捗評価等を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画(第2年度:2020年5月期)の進捗評価

(各事業セグメントのサービス説明は、最後にまとめて掲載しておりますのでご参考ください)

中期経営計画「SHIFT 2021」では、収益の変動が大きなフロー中心(販売)から、経営の安定と持続的成長が可能なストック中心(サービス)の収益・事業構造への転換を図ることを目的に、ストックに該当するITサブスクリプション事業の拡大を最重要課題として推進しております。

計画の第2年度に当たる2020年5月期は、構造改革のスピードアップのため、さらに積極投資を行いコストが先行しましたが、ITサブスクリプション事業の規模拡大、ITAD事業の収益性向上により計数計画を達成し、構造改革は当初目標どおり進捗していると評価しております。

業績推移、および重点施策であるITサブスクリプション事業、ITAD事業への取組みと結果は以下の通りです。

◆連結業績の3期推移

(百万円)

	中期経営計画 直前 2018年5月期	中期計画・第1年度 2019年5月期		中期計画・第2年度 2020年5月期			
	実績	計画	実績	計画	実績	前期比 増減率	前々期比 増減率
売上高	4,431	4,100	○ 4,177	4,500	○ 4,566	9.3%	3.0%
営業利益	238	310	○ 310	400	○ 413	33.2%	73.5%
経常利益	238	300	○ 315	400	○ 408	29.3%	71.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	158	200	192	250	○ 289	50.6%	82.9%
ROE	8.5%	10.0%	9.9%	11%以上	○ 14.4%	4.5 ^ホ ｲﾝﾄ	5.9 ^ホ ｲﾝﾄ

◆キャッシュベースの利益状況（EBITDA）の推移

下表のとおり、キャッシュベースの収益性も順調に拡大いたしました。

(EBITDA の推移)

(百万円)

	中期経営 計画直前 2018年5月期	中期計画・第1年度 2019年5月期		中期計画・第2年度 2020年5月期		
	実績	実績	前期比 増減率	実績	前期比 増減率	前々期比 増減率
EBITDA	860	985	14.5%	1,404	42.6%	63.3%
EBITDA マージン	19.4%	23.6%	4.2ポイント	30.8%	7.2ポイント	11.4ポイント

※EBITDA（イービッドダ）：Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization

利払い前、税引き前、償却前の利益のことで、本業が稼ぐキャッシュベースの利益として用いられます。いくつか計算方法がありますが、ここでは「営業利益+(減価)償却費」で算出しています。

※EBITDA マージン

売上高に対する、キャッシュベースの収益（EBITDA）の割合です。

キャッシュベースでの「本業の稼ぐ力」「収益性指標」であり、EBITDA/売上高で計算されます。

◆ITサブスクリプション事業の取組みと進捗評価

(百万円)

	2018年 5月期	2019年 5月期	2020年 5月期	前期比 増減率	前々期比 増減率
売上高	1,260	1,587	2,194	38.3%	74.2%
セグメント利益	88	204	277	36.2%	215.7%
売上高利益率	7.0%	12.9%	12.7%	△0.2ポイント	5.7ポイント

(取組みと評価)

- ・ストック収益中心。
SHIFT 2021 の最重要施策と位置付け、事業規模拡大に取り組む。
- ・積極投資でコスト先行しているが、サブスクリプション売上高の拡大により吸収し、2期前と比較して、売上高、利益、利益率、将来収益のいずれも拡大。
- ・コロナ禍の環境激変下でも成長し、持続的成長と経営安定度の向上に大きく寄与。
月額サブスクリプション売上高は、決算期末月の対比で2期前と比較して倍増。
- ・PCのサブスクリプション（3～5年の中長期レンタル）は、そのほとんどが業務利用のPCであり、途中解約の実績は極めて低い。
- ・当事業の規模拡大は、以下のメリットがあり、さらなる積極投資を今後も継続予定。
 - 将来収益の拡大、持続的成長の基盤、環境変化への耐性強化となる。
 - ITAD事業との相乗効果が拡大する。
- PCのサブスクリプション契約終了後のレンタルアップ品は、優良な中古PCとして、ITAD事業で販売を行うため、ITAD事業の収益拡大につながる。
- ・中期計画の3年目である2021年5月期も、積極投資で事業規模拡大に取り組む。

◆ITAD 事業の取組みと進捗評価

(百万円)

	2018年 5月期	2019年 5月期	2020年 5月期	前期比 増減率	前々期比 増減率
売上高	2,736	2,241	2,080	△7.2%	△24.0%
セグメント利益	473	423	531	25.6%	12.4%
売上高利益率	17.3%	18.9%	25.5%	6.6ポイント	8.2ポイント

(取組みと評価)

- ・事業規模ではなく、収益性の向上、環境変化への耐性強化を方針としている。
- ・そのため、以下の収益構造の改革を実施。
 - 2019年5月に BtoC から完全撤退。BtoB へ集中。
 - ・2017～18年に全国8店舗あった中古PCショップを全て譲渡・閉鎖
 - ・2019年5月 EC 譲渡 (BtoC 撤退完了)
 - この結果、売上高は減少したが、固定費の削減効果で収益性が向上。
- ・SHIFT 2021 では、さらに次の施策を実施。
 - 回収・データ消去のサービス品質向上
 - 収益性重視での案件受注
 - セキュリティ投資 (セキュリティゲート設置、トレーサビリティ強化策)
 - 業務 IT 化によるテクニカルセンター生産性向上
- ・この結果、2020年5月期はさらに収益性が向上。
 売上高利益率は、2018年5月期 17.3% → 2020年5月期 25.5%へ8.2ポイント上昇。
 2期前と比較しても、環境変化の影響をより軽減できる収益構造となった。
- ・2019年12月に発生し社会問題化したハードディスク転売事件を機に、排出 IT 機器のセキュリティ・適正処理がクローズアップされ、データ消去依頼は倍増。
- ・2021年5月期もデータ消去サービス拡大を見込み、収益性のさらなる向上にも取り組む。

2. 中期経営計画の修正 (軽微な修正)

以下の変更を行いました。

①2020年5月期第3四半期から、事業セグメントを変更したことに伴い、表現を修正。

②東証が進める市場改革方針、新しい市場区分名(案)が公表されたことに伴い、表現を修正。

修正後の中期経営計画「SHIFT 2021」は次の通りです。下線部が修正点となります。

名称：SHIFT 2021 ～さらなる収益構造改革・持続的成長へ～

(1) 基本方針

当社グループは、「IT デバイス×IT サービス×全国配置のテクニカルセンター」を軸にした「企業の IT 支援」を通して、持続的成長を目指します。

- ① ストック中心へさらなる収益構造変革
- ② M&A による成長のスピードアップ
- ③ グループ全体の連携強化
- ④ 東証第一部または(新)プライム市場へのステップアップを可能とする収益構造・経営基盤の構築

(2) 重点施策

- ① ITサブスクリプション事業の飛躍的拡大
- ② ITAD事業のサービス強化（回収・データ消去）、収益性のさらなる向上
- ③ 当社の強みのフル活用
 (当社の強み)
 - ・極めて優良かつ多数の顧客基盤
 - ・ITデバイスと関連ソフトウェアに関するノウハウ蓄積
 - ・他IT企業とは異なる、全国配置のテクニカルセンター・ロジスティクス網
 - ・長年の信頼とトップシェアを誇る適正処分サービス（データ消去、適法・適正処分）
- ④ 生産性向上、新技術への取り組み
 - ・社内のデジタルトランスフォーメーションのさらなる推進
- ⑤ 経営基盤の徹底強化
 - ・ガバナンスの強化、人材育成、ESG取り組み（※）、リスク管理強化、
 - ・グループ会社とのシナジーとグループ統制強化等

※ESG：Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の三つの頭文字

(3) 計数目標

営業利益を追加いたしました。計画数字の修正はありません。

(百万円)

	2018年	2019年		2020年		2021年
	5月期	5月期		5月期		5月期
	実績	計画	実績	計画	実績	計画
売上高	4,431	4,100	○ 4,177	4,500	○ 4,566	5,000
営業利益	238	310	○ 310	400	○ 413	500
経常利益	238	300	○ 315	400	○ 408	500
純利益	158	200	192	250	○ 289	330
ROE	8.5%	10.0%	9.9%	11%	○14.4%	12%以上

(ご参考) ITサブスクリプション事業、ITAD事業のサービス内容

事業セグメント	主なサービス内容
ITサブスクリプション事業	法人・官公庁が業務で使用するPCのサブスクリプションでの提供、及び運用保守・クラウド等のITサービスが該当します。 サブスクリプション型サービスが大部分を占めます。 ◆PCサブスクリプション（中長期レンタル中心） ◆ITサービス（運用保守、通信、クラウド系ソリューション等）
ITAD事業	使用済みIT機器のデータ消去、適正処理サービスです。 ◆使用済みIT機器のセキュアな回収、データ消去 ◆リユース・リサイクル販売（※） ※高価値品はテクニカルセンターで製品化し、リユース品として販売。 再利用困難な機器については分解して素材化し、当社の監査基準を満たすリサイクル業者へ販売し、廃棄物削減と適正処理を推進。

以上